

=市史編さん便り= 【36号】 令和4年10月7日(金) 発行.

*****土佐清水市教育委員会生涯学習課・市史編さん室

◎清水小4年1組「総合学習」に guest=teacher として授業参加。市内自然災害碑の授業！



本日10月7日(金)4校時に、清水小4年1組(担任・清水聡教諭)の総合学習(防災)の授業に市史編さん室がゲストティーチャーとして依頼されました。市史編さん室から室長田村と吉本がゲストティーチャーとして参加させていただきました。

授業では、①石碑の意味。②自然災害碑とはどのようなものか。③自然災害碑に刻まれている市域の過去の災害はどんな災害が多いのか。④自然災害碑の市域の分布状況。⑤市域の自然災害碑の写真…などについてその概要を説明しました。

①石碑の意味…

人間が何かの目的を持って文字を刻み、建立した石の総称。stone monument。
石碑に刻まれた文字→銘文(めいぶん)、碑文(ひぶん)。

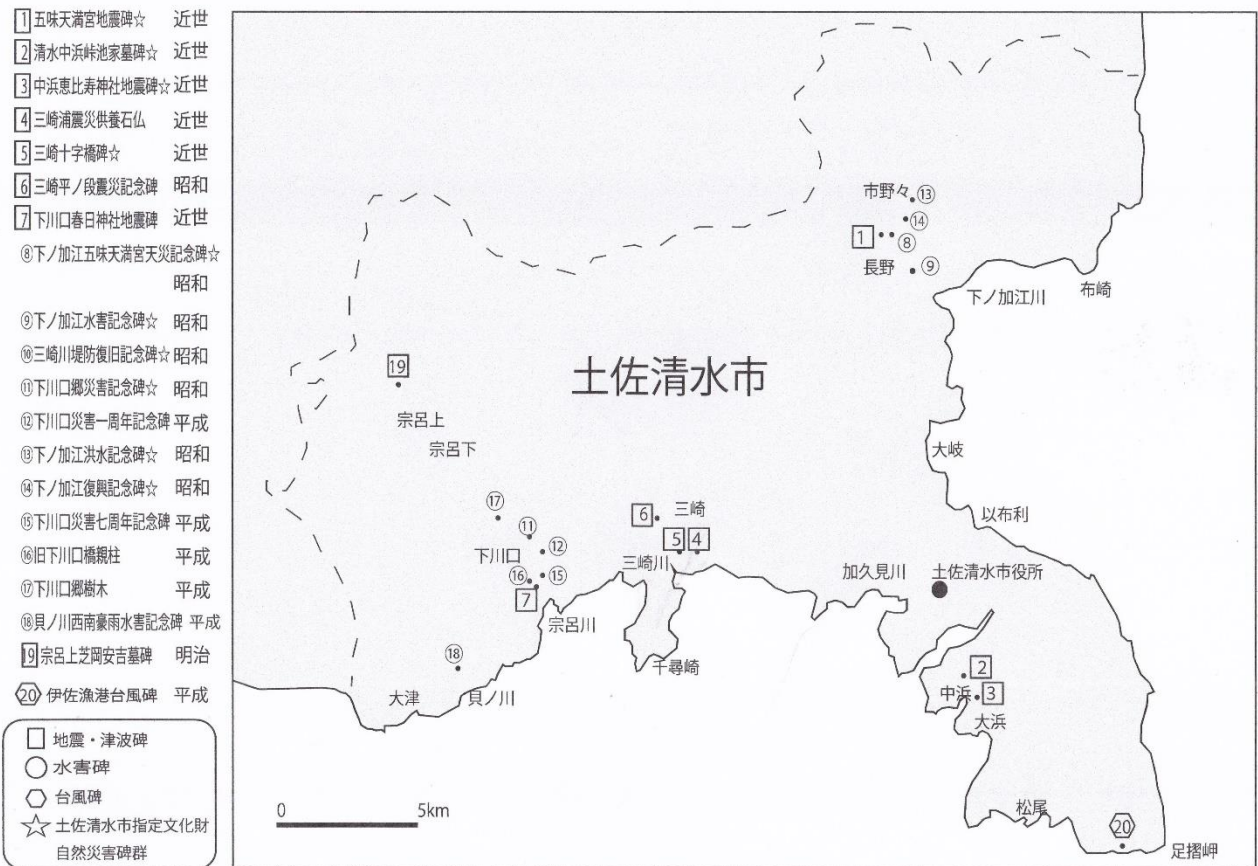
②自然災害碑とは…

いつ、どこで、どんな災害が発生したのかを石に刻んで未来に伝える。その中で地域住民がどのように災害から復興していったかを記す石碑もある。
石碑の数え方→1基、2基、3基…というように「基(き)」という字を使用する。

③自然災害碑に刻まれている市域の過去の災害はどんな災害が多いのか…

- 江戸時代→6基 (地震津波 6基)
- 明治時代→1基 (地震津波 1基・個人墓)
- 昭和時代→7基 (地震津波 1基・水害 6基)
- 平成時代→6基 (水害 5基・台風 1基)
- 合計 20基** (地震津波 8基・水害 11基・台風 1基)

④自然災害碑の市域の分布状況。



⑤市域の自然災害碑…



市野瀬「復旧記念碑」(左)、「洪水記念碑」(中)、長野「水害記念碑」(右)。